

事業概要シート

施策

2003

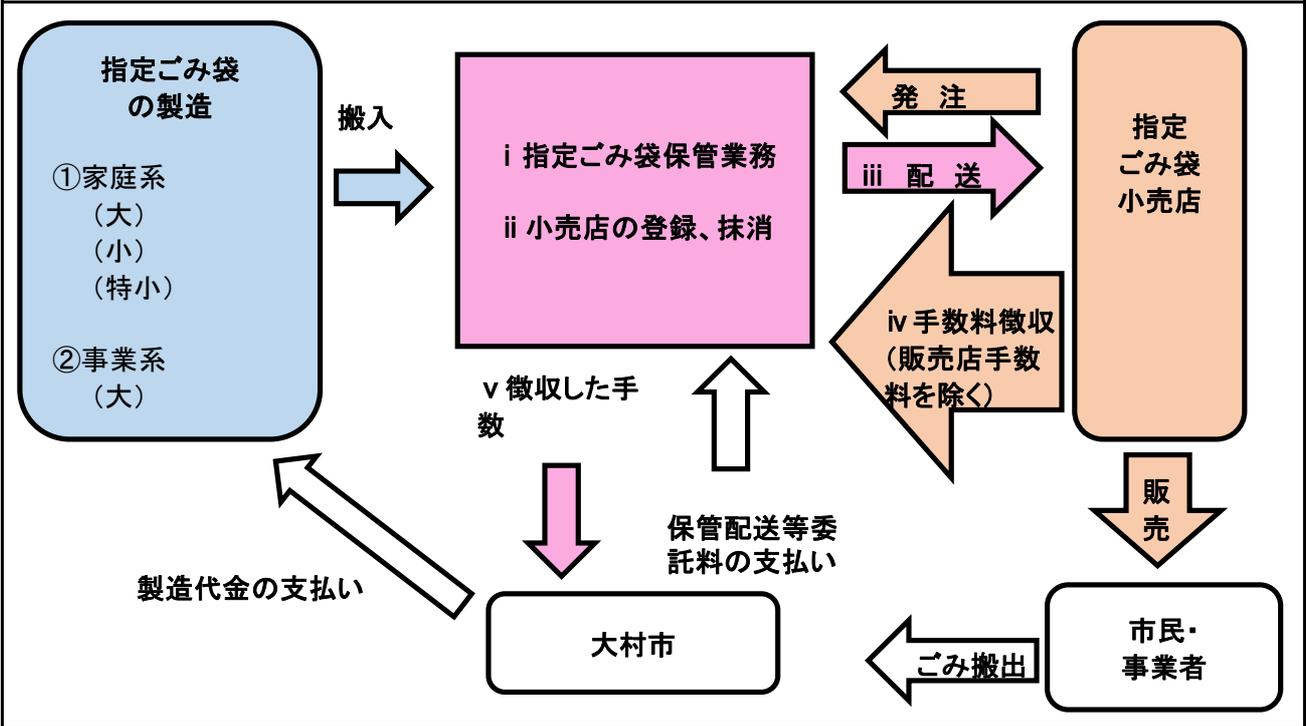
ごみの減量化と適正処理の推進 <>の金額

現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く
 ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く

事業名	指定ごみ袋制度推進事業	現状維持	予算額	61,806 千円
				<< 51,111 >>千円
事業期間	平成13年度 ~	財源内訳	国庫支出金	千円
			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	61,806 千円
根拠法令要綱等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大村市 廃棄物の処理及び清掃に関する条例 ・一般廃棄物処理基本計画		一般財源	千円

【事業の目的・概要・対象】

指定ごみ袋の製造、倉庫での保管、小売店への配送及びごみ処理手数料の徴収、小売店での販売を委託することにより、市民及び事業者へ指定ごみ袋を安定的に供給する。



【背景】

指定ごみ袋制度によって、排出者が排出量に応じた費用を負担することによる公平化を図り、ごみ分別の徹底によるごみの減量やリサイクルの推進に繋げ、ごみに対する発生抑制の意識を高める。

担当課	市民環境部 環境センター	課長	荒木 良也
担当者	南 誠	問合せ先	0957-54-3100

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	家庭系の燃やせるごみ搬入量 (収集量+自己搬入量) [基本計画目標値]	計画値 t	16,643	16,263	16,363	16,433	16,533
②		計画値					

【成果指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	1世帯当たり可燃物ごみ量(搬入量) (家庭系の燃やせるごみ搬入量÷世帯数)	計画値 kg	376	424	424	424	424
②		計画値					

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
事業費	45,930	41,001	51,111	61,806	61,806	61,806	323,460
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	45,930	41,001	51,111	61,806	61,806	61,806	323,460
一般財源							0
人件費	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091	6,545
職員(人)	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.90人
時間外勤務(h)							0h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	47,021	42,092	52,202	62,897	62,897	62,897	330,005

妥当性 (市の関与)	排出者責任の徹底、ごみ減量化の意識の向上及びごみを多量に排出する者と少量しか排出しない者との負担の公平化からも妥当である。 ごみ処理は市に義務付けられている。
有効性 (施策貢献度)	市民の分別排出の協力により、一世帯当たりのごみ排出量はほぼ横ばいである。
効率性 (コスト)	指定ごみ袋の製造は入札により発注している。 指定袋の代金については、現時点では見直しの予定なし。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり